

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	大腸 SM (pT1) 癌内視鏡治療後の追加外科切除に関する検討
所属科	消化器内科
研究責任者	古本 洋平
研究期間	倫理委員会承認後から令和2年9月まで
研究概要	<p>現行の大腸癌治療ガイドラインには、内視鏡的切除 pT1 大腸癌に対する追加外科切除の適応基準として、「垂直断端陽性」と「病理組織学的リンパ節転移リスク陽性」の2つがある。前者は局所遺残の可能性があるため、追加切除の"絶対適応"である。一方、後者ではリンパ節転移リスクに幅があるため、追加切除を考慮する、という弱い推奨レベル（相対適応）となっている。実臨床では、こうした相対適応病変に対しては、個々の症例の病理組織学的所見、患者の身体的・社会的背景や患者自身の意思、などを考慮して治療方針が決定されている。本研究では当院における治療法選択や再発・リンパ節転移の割合、生存期間、追加切除を行った場合の合併症等の実態を明らかにすることを目的とする。結果について検討することにより、今後個々の症例でよりよい治療選択が可能になると期待される。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>データは匿名化して対応表を作成し、個人情報に配慮する。結果を発表する際には個人が特定されるような情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に研究で得られた被験者のデータを使用しない。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問い合わせ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有（臨床研究登録番号： ）
研究の問い合わせ先	墨田区江東橋 4-23-15 TEL : 03-3633-6151 墨東病院 消化器内科 古本洋平
結果の公表について	令和2年5月 日本消化器内視鏡学会総会にて発表予定
利益相反について	該当ありません